見つける、
治す、
そして支える。

～済生会熊本病院と地域でつなぐ消化器医療～

未来連携フォーラム

10.28 wed 19:00~21:30
@ホテル日航熊本

開催日時

2026 10/28 水
19:00～21:30　開場 18:30

参 加 無 料

会場｜ホテル日航熊本 5F「阿蘇」
熊本県熊本市中央区上通2-1

定員｜300名
※定員に達し次第締め切りとさせていただきます

参加方法

下記二次元コード、
もしくはURLよりお申し込みください

URL https://x.gd/XmldL
10月21日(水) 締め切り

お問い合わせ
地域医療連携室
担当:緒方・古谷・島本
TEL 096-351-8372
〒861-4193 熊本市南区近見5-3-1

第1部　講演会 19:00～20:00

- 19:00　Opening Remarks
  中尾 浩一　済生会熊本病院 院長
- 19:05　見つける、治す、そして支える。
  ～済生会熊本病院と地域でつなぐ消化器医療～
  座長: 渡邊 紳一郎
  副院長 兼 ロボット・低侵襲手術センター長 兼 集学的がん診療センター長
- Session 1　予防的観点と開業医との連携について
  満崎 克彦　予防医療センター センター長
- Session 2　消化器内科の診療体制／大腸がんの内視鏡治療について
  庄野 孝　消化器内科 部長
- Session 3　外科の診療体制／大腸がんの外科治療について
  今井 克憲　外科 部長
- Session 4　総合腫瘍科の診療体制／集学的な大腸がん診療について
  坂本 快郎　総合腫瘍科 部長
- 20:00　医療連携部長よりご挨拶
  一門 和哉　管理運営部長 兼 呼吸器内科部長 兼 医療連携部長

※演題名は現時点での予定であり、変更となる場合がございます。

第2部　情報交換会 20:15～21:30

- 20:15　乾杯のあいさつ
  水足 秀一郎様　熊本県医師会 会長
- 20:20　情報交換会
- 21:30　Closing Remarks
  原武 義和　済生会熊本病院 副院長

https://sk-kumamoto.jp/

［サイクル］
vol.120
2026.October

済生会熊本病院 連携広報誌

saikuru

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。

減量支援外来を開始しています

社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院
SAISEIKAI KUMAMOTO HOSPITAL

連携・患者紹介に関しまして、ご不明な点などございましたら地域医療連携室までご連絡ください。
TEL.096-351-8372　FAX.096-351-8505　熊本市南区近見５丁目３番１号

Instagram

減量支援外来を開始しています

肥満（BMI*1>25）は太っていることを意味しますが病気ではありません。一方、肥満が原因で起こる健康障害を伴っている場合、「肥満症」と診断されます。図1は肥満が様々な生活習慣病の原因となり、最終的に重大な病気へと連鎖していく様をドミノ倒しに見立てたものです。ドミノの最初の段階で食い止めることが、患者さんの健康寿命を延ばし医療経済的にも優れると考えられ、肥満症に対する減量治療が保険適用となりました。
当院では医師、看護師、管理栄養士、薬剤師が連携し、食事療法・運動療法を基本とした「減量支援外来」を開設しています。生活習慣の改善を行った上で、適応を満たす患者さんにはインクレチン関連薬を用いた薬物療法も行っています。

*1 BMI（体格指数）＝体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）

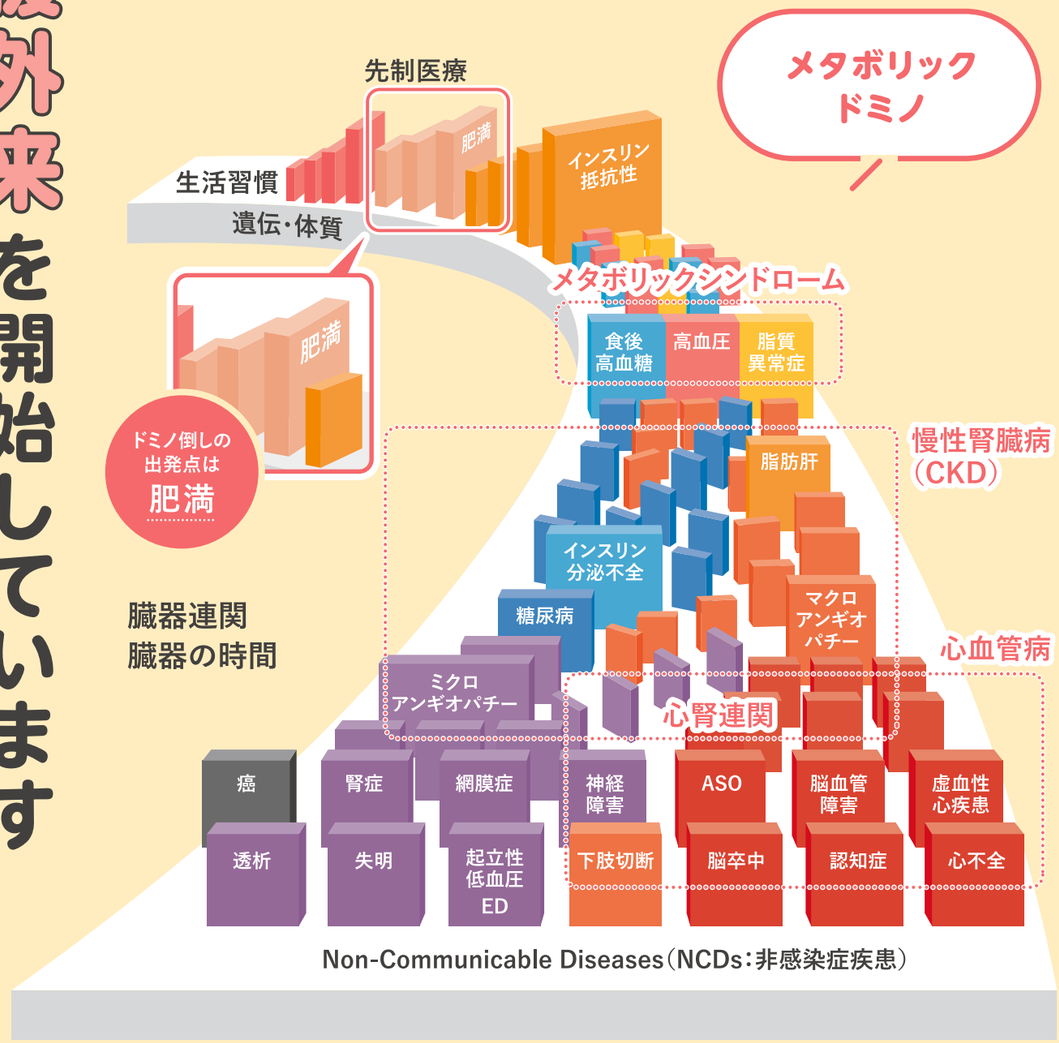

図1 メタボリックドミノの概念図（伊藤裕教授 提唱）

参考：慶應義塾大学病院 医療・健康情報サイト「COMPAS」 https://kompas.hosp.keio.ac.jp/disease/000062/

肥満と肥満症の違い

肥満
BMI25以上の状態

肥満症
肥満に加え、肥満が原因となる健康障害を伴い、医学的な減量治療が必要な状態

このような患者さんをご紹介ください

インクレチン関連薬の治療対象

高血圧、脂質異常症または2型糖尿病のいずれかを有し（薬物療法を行っている方）、右記のいずれかを満たす患者さん

01 BMI27以上 かつ 下記の肥満に関連する健康障害を2つ以上有する方

- 耐糖能障害（2型糖尿病等）
- 脂質異常症
- 高血圧
- 高尿酸血症・痛風
- 冠動脈疾患
- 脳梗塞
- 非アルコール性脂肪性肝疾患
- 月経異常・不妊
- 閉塞性睡眠時無呼吸症候群
- 運動器疾患（変形性膝関節症など）
- 肥満関連腎臓病

02 BMI35以上の方

減量支援外来の流れ

01 ご紹介
02 初診・診断
03 栄養指導・運動指導（～6ヵ月）
04 薬物療法適応判定
05 定期フォロー（1回 / 1～2ヵ月）

肥満症に対するインクレチン関連薬治療は当院で行いますが、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの日常診療については、引き続き紹介元医療機関での診療継続をお願いいたします。

「今年も健診の季節で憂鬱だな。もう少し痩せれば中性脂肪も下がると思うけど努力が足りないのかな。最近は膝も痛いから運動もできないし…。」こういう患者さんはいらっしゃいませんか？人間は体重を一定に保とうという作用が働くため、本人の努力だけで痩せようとしても限界があります。当院の減量支援外来は生活習慣の改善に加えて薬物療法を行うことで、患者さんの長年の悩みである肥満を解消し、肥満に関連する健康障害を改善するサポートを行います。患者さんに将来起こる可能性のある重大な病気を未然に防ぐためにも、できるだけ早めの段階で肥満症治療を行う必要がありますので、是非ご紹介いただければ幸いです。

松尾 靖人
まつお やすと

糖尿病内科部長 兼
栄養部長 兼
外来運営部副部長